

献立ひとくちメモ

10月1日(木)



栗のお話です。

今日はお月見、十五夜の日です。

米や栗、里芋など秋の食材を収穫して、月を見ながら食事を楽しむ日本の伝統的な行事です。十五夜は『中秋の名月』とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る満月」という意味があります。さて、ここで問題です。日本人は、栗をいつごろから食べてきたでしょう？

①縄文時代 ②平安時代 ③江戸時代

答えは…①縄文時代です。栗は、縄文時代に主食として食べられていて、日本で最も古いとされている歴史書『古事記』（712年）にも記されています。昔は砂糖が貴重だったので、自然の甘味のある栗はとても大切に食べられていたそうです。